



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要

建物名称	(仮称)ドエル北2東2	BEE	1.1	BEEランク	B+
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,242.22 m ²			総合評価	★★★☆☆

2 重点項目への取り組み



3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー				合計 22点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 4.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 2.0	
Q1 光・視環境	スコア 3.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0	
		LR1 効率的運用	スコア 2.0	
B 省資源等				合計 14点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	
C 緑化				合計 6点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0			
D 雪処理				合計 2点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー

エネルギーの使用の合理化等に関する法律を遵守し、計画した。

B 省資源等

台所、洗面室に水優先吐水栓を採用、浴槽は高断熱浴槽を採用し省資源化を図った。
照明器具はLEDを多用した。

C 緑化

前面道路側北東側、別棟ゴミ庫横に植栽を配した。

D 雪処理

前面道路側敷地内にロードヒーティングを設けた。
雪庇防止金物を東、南、西面の3方向に設置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される